

# 「議員活動の目標(公約)」

## 令和元年度分 (令和元年9月～令和2年3月)

### ●議員活動の目標 (公約)

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標(公約)として、平成19年から公表しています。

本年9月の改選により、改めて令和元年度の活動目標を設定しました。

本年度は、全議員10名で総数155項目(昨年:10名で155項目)となりました。

### 花田 勇 78歳

総務教育常任委員会副委員長、  
議会運営委員会副委員長、議会選出監査委員  
議員歴8年11カ月

分野	具体的な目標項目
行政	一次産業の漁業や農業が活性化しなければ福島町は明るく生活を楽しむ町にならない。そのために人財育成が大切。
財政	5次計画前半4年はかなりの財源を町民のため投資したと思いますので、後半はゆっくりと必要な事業を見極めて財政に取り組む。
経済	養殖漁業の拡大に力を入れていきたい。そのためにも若者の定住できるような漁業の町になるように提言
福祉	高齢者に対するサポート体制の充実の提言
	ガンなんかには負けない福島町をより多くの町民へ周知 通院バスの充実の提言
教育	小・中学校一貫教育の提言
	福島商業高校の存続のための提言
その他	青の洞窟と岩部クルーズを柱にした、福島町を観光の町にするための提言

### 佐藤 孝男 73歳

経済福祉常任委員長、議会運営委員、  
渡島西部広域事務組合議会議員  
議員歴24年11カ月

分野	具体的な目標項目
行政	防災対策の推進(避難訓練のあり方、災害弱者、冬場の対策など)
	人口減少で公共住宅建設の再調査
財政	将来を見据えた財政健全化の推進
経済	一次産業の振興、新規就業者の確保と育成 ほだ木確保のため町有林の再調査と作業路の整備
福祉	予防医療の推進
	デマンドバスの利用拡大と推進
教育	学校給食センターにおける地場産物利用の強化
	体験学習を通じた食育への取り組み 福島商業高等学校の存続の強化
その他	各種行事の積極的な参加

### 平 沼 昌 平 64歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員、  
渡島廃棄物処理広域連合議会議員  
議員歴15年1カ月

分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出に向けた提言
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言する。
経済	後継者育成と定住化促進に向けての提言
	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言 町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言
教育	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言
	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方について提言 社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言
	有害獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保・事業の広域的(4町)取組の環境整備に対する提言
	吉岡総合センターの活用と運営に対する提言
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言 漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言 水産加工事業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言

### 木村 隆 40歳

総務教育常任委員  
議員歴12年11カ月

分野	具体的な目標項目
行政	総合計画後期への提言
	がんばる地元応援事業と起業支援の見直し 道の駅の方向性の明確化
経済	アワビ陸上養殖の事業化の推進 改良住宅建て替えの提言
福祉	水産加工業への雇用・原料確保対策
教育	保育士の確保
	介護対策(地域支援事業)の推進
その他	英語・プログラミング等2020年教育への注視
	高校存続と地域高校のあり方の検討
	松前半島高規格道路整備の推進 第2青函トンネル構想の推進 木古内自動車学校閉校に対する生徒支援

## 川村 明雄 74歳

総務教育常任委員長、議会運営委員  
議員歴12年3カ月

分野	具体的な目標項目
行政	定住・少子化対策への政策提言
	第二の青函トンネル構想推進
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用
	「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察
経済	空き家利活用の対策提言
	定住促進に繋がる経済対策の考察、提言
	岩部地区の観光面からの再開発構想の具現化
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進
	吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言
教育	デマンドバス利用料金の再考と利用促進
	福島高校存続対策の推進・小中高一貫教育の考察
	学校教員の働き方改革への考察、検討
	虐待、いじめ、不登校に向き合えるゆとりある施策追究
その他	松前半島道路計画の推進
	町内会を始めとするボランティア・文化活動の推進
	長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究
	消費税と基礎年金への関心喚起・考察

## 杉村 志朗 71歳

総務教育常任委員、  
渡島西部広域事務組合議会議員  
議員歴20年11カ月

分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想実現の推進
	状況に見合う条例の見直し提言
財政	町民が安心できる財政健全化の推進
	第5次総合計画（後期）の推進
経済	養殖事業（アワビ・コンブ）安定事業の推進
	一次産業（後継者の育成）推進提言
福祉	高齢者に対する各種行事の参加増を期待
	デマンドバスの効率的巡回の充実推進
教育	少子化による学校教育の充実
	福島商業高等学校入学者増の対策強化
その他	今後の過疎・人口減少問題
	高齢化社会に対応（葬祭費）の検討
	商店街の活性化

## 藤山 大 45歳

経済福祉常任委員会副委員長  
議員歴7年4カ月

分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災対策の推進
財政	優先順位を持った財政運営の推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策と商業高校を活かした新たなクラブ活動のあり方
その他	今後の「道の駅」のあり方（新設なら温泉・福祉センターを含めた新たな「道の駅」構想）
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、イベントに繋がる集客力と経済補助効果発展のための提言

## 小鹿 昭義 67歳

経済福祉常任委員、議会運営委員  
議員歴0年3カ月

分野	具体的な目標項目
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言
	新しい風を吹き込み、町民と共にまちをつくり、安全で安心できる安定したまちを構築し、未来に向かうまちづくりへの提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進
	「黒米」や「養殖真昆布」などのブランドを全国に更なる発信を推進
福祉	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言
	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	健康で働く意欲の旺盛な高齢者のためにシルバー人材センター開設を提言
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む

## 溝部 幸基 72歳

（議長、総務教育常任委員、経済福祉常任委員、  
渡島西部広域事務組合議会議長  
議員歴39年5カ月）

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修
	「公契約条例」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	選挙運動費用公費負担制度の検証
財政	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	特別職退職手当制度の抜本的改善
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組みづくりの調査 研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づ くり」の研修
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減
	予防医療の推進
	在宅介護支援体制の整備
	簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金）
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調 査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査研修
	「子育て基本条例」制定に向けた取り組み（情報収集・研修）
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をも った自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・ 実践計画・研修）
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本 条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	町議会議員選挙への供託金制度導入
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）
各種行事、研修への積極的な参加	

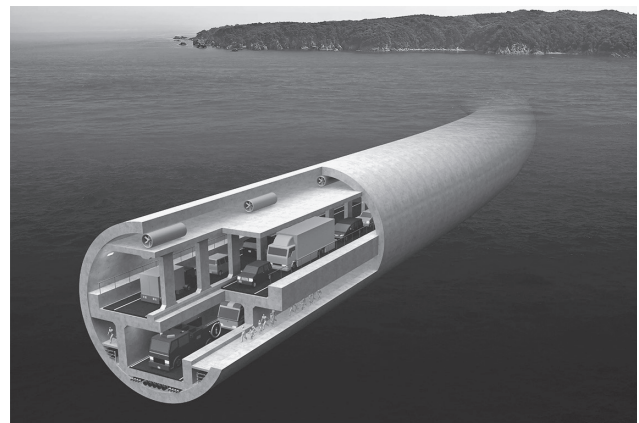
## 平野 隆雄 71歳

（副議長、総務教育常任委員、経済福祉常任委員、  
広報・広聴常任委員長、渡島廃棄物処理広域連合議会議員  
議員歴24年3カ月）

分野	具体的な目標項目
行政	第二の青函トンネル構想推進
	町内景気の活性化の推進
	福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の活用
	町立診療所運営の健全経営の実現
	各町内会館の再編推進
経済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビの新たな商品開発推進
	スルメ加工以外の商品開発の推進
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増の提言
	がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政の推進
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり
	福島商業高等学校入学増の推進
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里の推進
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進



2/7 第2青函トンネル構想を実現する会設立総会の様子



多くの議員が目標に掲げられた第2青函トンネル構想  
(第二青函多用途トンネル構想研究会報告書より)